



福田沖の遊漁船

第二号

# STK会報

発行所  
香川県善通寺市  
金蔵寺町1298-1  
080-2990-6485

2013/03/31

## 「恥ずかしい」釣行？

小豆島での風物詩にも成っている福田沖での真鯛釣りは1000〜300隻にも釣船が膨れ上がります。漁業者は操業が出来ずマナーの守れないプレジャーボート同士での接触、喧嘩が見られます。

マナーを守れば防げるはずの常識に欠けているのではないかと思われます。事故を起こし保安庁を呼びそれぞれの処理が終わり後日呼出しを申し渡され楽しいはずの休日が台無しに成ってしまいます。

お互いにほんの僅かの注意や心がけがあれば防げるのでは無いかと懸念されます。小豆島周辺の動植物の維持を図り漁業者だけでなく遊漁者も稚魚放流、清掃等に参加し豊かな漁場を作らなくてはならない時が来ているのではないかと思われます。

### 今後の内海漁協の取組み

遊漁者に占領された状況の漁場を保守する為に漁業協同組合と遊漁者間で漁場利用協定の締結を目指し小豆島周辺地域のルール作り策定に取組む。  
香川県海面利用協議会及び香川・岡山広域海面利用協議会でも

取り上げられ公的機関との協議を重ね今年度中には行使出来る見通しとしている。

香川・岡山・兵庫県の各団体、代表組織等との会議を重ねる。順次周辺府県にも範囲を広げ周知する。

遊漁者にも稚魚放流、海域清掃に参加してもらおう一環として協力金を求める。

漁の妨げにならないよう遊漁者にルールを守って釣りをしてもらい豊かな漁場を保守する。

### 今年のマダイ釣りの釣果

例年に無く良くない状況だったと大方の釣り人が感じています。釣人らの良識ある行動で豊かで潤える漁場を作りたいものです。

STK(瀬戸内遊漁船釣り団体協議会)は遊漁船の業を営む者を正会員とし、その他のプレジャーボートを賛助会員で組織している会であり互いに情報の共有を交わしルールとマナーを守る会です。この度の内海漁協との漁場利用協

定締結に向けてSTKは遊漁者の代表として会議に参加しています。福田沖のサビキ釣りも終盤です。これからはタイラバ釣りに移行しますが限られた資源を大切に利用したいものです。



海上よりオリーブの島・小豆島

## 庄内半島三崎 マダイ釣り

香川県西部に位置する庄内半島、燧灘に面する温暖な釣り場である。県内は元より県外からは岡山、広島、愛媛の遊漁船で埋め尽くされます。漁業を営む漁師さんは「網をひけず漁を妨げられる」と県庁水産課に訴えています。遊漁船同士でも釣りをしている船団の中を全速力で走り、引き波を立て割り込む行為は日常茶飯事の出来事のようにです。遊漁者同士でトラブルに成り怒鳴りあったり喧嘩をしたりと特に岡山のプレジャーボートのマナーの悪さには目に余るものがあります。近年では香川県の漁船と岡山のプレジャーボートが衝突して漁師さんが亡くなりました。楽しい釣りの筈が暗転してしまいます。漁師と遊漁者同士でもお互いにトラブルを起こさないよう心がけたいものです。

香川県水産課では海域でのモデル地区を策定し協議会を開き計画を進めています。

(2013/3/31)

## 庄内半島より



## 多度津・丸亀沖 イイダコ釣り

香川県多度津・丸亀沖のイイダコ釣りは県内外から大勢の釣り人が集まってきました。小潮で時合さえ合えばかなりの釣果があります。ところが一部の釣り人は漁師さんの入れているタコ壺の側まで寄って行きロープにテンヤを絡ませてしまいます。また香川県では船からの大ダコ釣りは規則で禁止されていますが、あえて狙って釣る人も少なくありません。県から指導さ

れたり海上保安部の巡視艇に検挙されたりする人がいます。釣り人として、してはならない事は止めたいものです。

## 多度津沖のイイダコ



## 飯が入っているイイダコ



## 釣りのルール

昨年はサワラのひき釣り、メバルの夜焚き釣りが禁止された漁法であるにも拘わらず違反行為で検挙された遊漁者が後を絶ちません。サワラのひき釣り、メバルの夜焚き釣りは香川県の規則で禁止されています。検挙され罰金刑が科せられます。ただしサワラのルーア釣りは対象外です。船舶を停止してジギングなどで釣りましょう。

岡山県笠岡地区海洋牧場は水産資源を効率的に増やし、周辺海域に水産資源を供給することを目的として整備した海域ですので利用ルールが定められました。

船釣でのサビキ釣り、かかり釣り、各大きさの魚の採捕、保護水面・保護区域での採捕禁止が定められています。ルールやマナーを守って釣りをしましょう。

香川、岡山両県で配布されている**海の手帳**に記載されている事柄を守って違反や事故の無い釣りを楽しみましょう。

### 香川県海面利用協議会とは

海面における漁業と海洋性レクリエーションとの紛争の予防及び調整・解決を促進し海面の円滑な利用を図るための協議会である。

海区漁業調整委員会の諮問に応じて海面における漁業と遊漁との調整について調査、検討を行う。

協議会の委員は知事が選任した者で行う。

### 香川・岡山広域海面利用協議会とは

香川県及び岡山県海面(広域)における漁業と海洋性レクリエーションとの紛争の予防及び調整・解決を促進し海面の円滑な利用を図るため、香川・岡山広域海面利用協議会を設置している。

広域海面利用協議会は香川県海面利用協議会及び岡山県海面利用協議会の委員の中から各協議会が選出した委員で行う。

### 「今年度下期事業概要」

S T K二十四年度下半期の事業概要を取りまとめました。

#### 平成二十四年度

■十二月十三日

琴平の琴参閣で忘年会を開く。

■平成二十五年一月十七日

高松海上保安部にてS T K会員が警戒船及び管理業務講習会を受講した。

■一月三十日

小豆島内海漁業協同組合でS T K会長、理事、事務局と内海漁業協同組合長、各支所長、理事、参事と漁場利用協定について会合を開く。

■三月二十六日

S T K会長福本優が香川県海面利用協議会の委員長に選任した。同時に同会の山地直美が委員に選任した。

また、兩名は香川・岡山広域海面利用協議会の委員に選出された。同日、香川県庁にて香川県海面利用協議会の会議が行われた。

■三月三十一日  
第二回S T K会報発行。

### 「二十五年度上期事業計画」

■四月下旬

第二回瀬戸内遊漁船釣り団体協議会総会開催。

■五月中旬

第一回小豆島漁場利用協定協議会開催。

■六月中旬

西讃地区稚魚放流。

■七月下旬

夏休み親子キス釣り教室。

■九月下旬

瀬戸内タイラバ釣り大会。  
会場・小豆島内海港  
釣場・小豆島周辺

### メールマガジンを発行

※S T K賛助会員には遊漁船船長からの釣り情報・ポイント情報をメールマガジンで随時事務局より携帯電話に配信します。  
魚釣りと言っても丘っばりに始

まり船釣りなどその分野は多岐に渡ります。その中でも船での釣りは情報が一番。サンデー釣師にはこの情報が喉から手が出るほどです。

S T Kでは有能な船長が日々、ポイント開拓からポイントの状況を把握しております。季節によってはポイントが大きく移動します。これらの情報を日頃からお世話になっているS T K賛助会員の方にメールマガジンとして提供して行こうと考えております。

発信は不定期ですが新しい情報が入り次第、会員さんの携帯に送られます。

情報が欲しい賛助会員さんは事務局までパソコンもしくは携帯のメールアドレスをお知らせ下さいませ。

ただ、会員さん宛ての情報でするので個人利用のみとさせて頂きませ。他者への転送などはくれぐれもしないようお願いいたします。各遊漁船は商売としておりますので宜しくお願ひします。

## 忘年会

平成二十四年十二月十三日にこ  
んぴらさんの麓、琴参閣でSTK  
忘年会が行われました。正会員、  
賛助会員、協力者等が一同に顔を  
合わせ労い親睦を図り友好が結ば  
れました。今年度の会の発展を願  
い和気あいあいの忘年会でした。



## 会員紹介

### 正会員

▽福本優 (会長) ▽城市勉 (副会  
長 岡山支部長) ▽青井和行 (理事)  
▽石川勝正 (理事) ▽松岡英治 (理  
事 監査・会長補佐) ▽青井サチコ

(事務局長) ▽松本八起 (監査・  
岡山支部長補佐) ▽細谷繁幸 ▽山  
地俊哉 ▽山地直美 ▽三谷博文 ▽上  
谷正仁 (兵庫県支部長)

### 賛助会員

▽櫻井釣漁具(株) ▽岡山県小型船安  
全協会(東部地区)尾崎満 ▽橋本英  
明 ▽藤本勝久(兵庫県支部長補佐)  
▽宮川勝(幹事) ▽宮武廣司 ▽大喜  
多光則 ▽石川益男 ▽亀割正三 ▽伊  
賀義文 ▽千葉勲 ▽元木隆(調整役)  
▽杉峰正芳 ▽仁王英夫(相談役)  
▽中野和夫 ▽西村泰英

### 放流基金寄付協力者

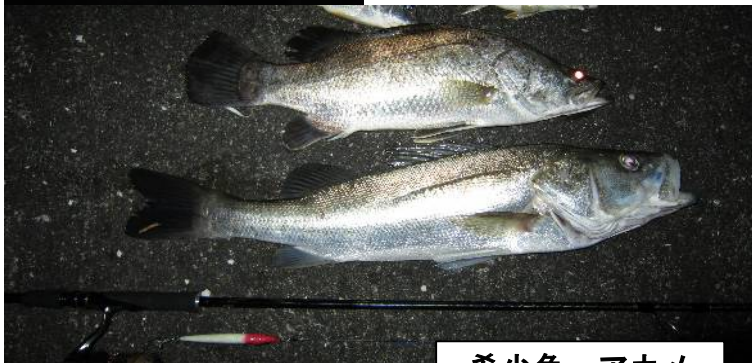
百人を超える寄付金の協力者を  
募ることが出来ました。

「魚を釣っているのだから放流  
するお金なら是非に」と嬉しい協  
力をして頂きました。放流基金で  
キジハタ、マダイの稚魚を購入し  
ました。場所は第一回高松沖、第  
二回小豆島沖、第三回岡山県宇野  
沖へ放流しました。海上保安部、  
漁協、県関係等の協力も頂き無事  
放流を行う事が出来ました。  
有難う御座いました。

## 四方山話

### アカメ 土佐釣行

彼はMと言いアカメを年に五回  
土佐へ釣行している。一昨年は四  
尾、昨年は二尾と釣果をあげてい  
る。日本レッドブックに記載され  
ている希少魚である。今年もそ  
る釣行に向けてルアーの製作を  
始めているようだ。手先が器用で  
関心するがその出来栄えに心を奪  
われる。釣果に拘わらず自身で決  
めた釣行回数を確実に守っている  
独り行動の御仁である。少々変人  
かと思うほど他人の言う事は余程  
でない限り妥協しない。釣果が有  
れば自分で納得して喜び、釣果が  
無ければ腕が悪いと納得している。  
釣れたら写真に収め放流する。



希少魚 アカメ

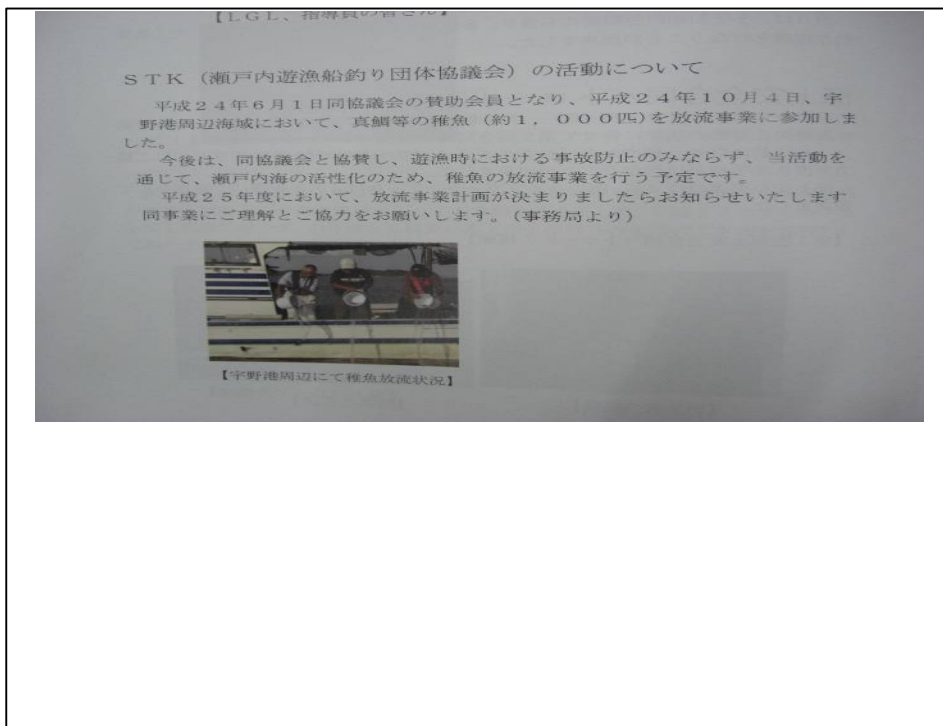
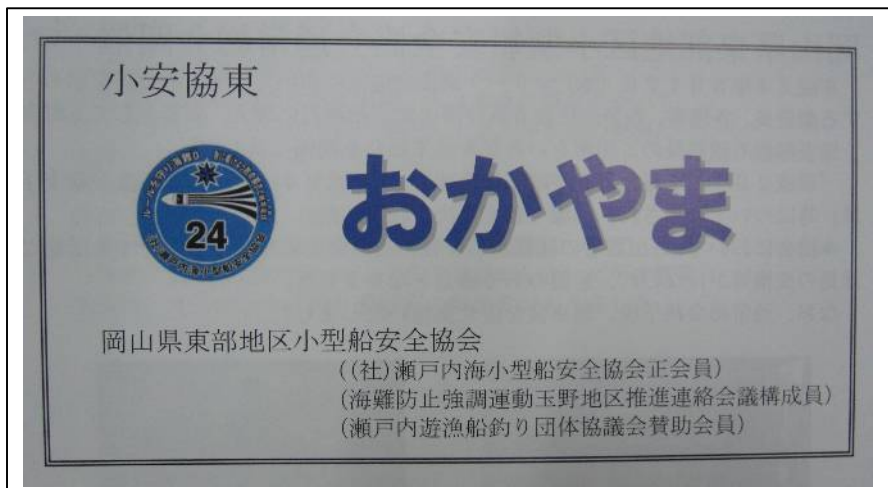


自作ルアー

自分自身が納得するだけの釣行の  
ようだ。今年の釣果が期待される。

STK会報号外

「小安協東 おかやま」三月、岡山県東部地区小型船安全協会から発行されたでSTK（瀬戸内遊漁船釣り団体協議会）の活動が紹介されました。



※ 瀬戸内遊漁船釣り団体協議会は香川県小型船安全協会STK支部です。



※ STKは香川県釣り団体協議会に加盟しております。県内在住者で大物魚を釣った方は是非「香川のギネスに登録しましょう」

ギネスブック



昨年 月間 「シーアンドシー」で岡山県海面利用協議会会長  
(ポートオブ岡山)の尾崎様よりS T Kの紹介がされました。